



幼稚園だより

令和6年度
7月号

「やってみたい」を大切に

令和6年6月28日
文京区立湯島幼稚園
園長 前田 宏子

先日の親子遊ぼうデーではたくさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。各学年でそれぞれの遊びを楽しんだり、体操の斉藤照先生と一緒に体を動かしたりすることができました。ご家庭でもできることがあったかと思えます。ぜひ、子どもたちと一緒に思いっきり遊んでいただければと思います。

日差しが強くなり、夏がやってきました。幼稚園ではプール開きをし、園庭からは子どもたちの歓声が上がっています。プールでは教師の声掛けにそって、身体を水に慣らしてから遊びます。「顔を水につけられるかな？」の問いかけに「できる！」と大きな声で答える子もいれば、手に水をすくい、そっと顔をつける子もいます。それぞれのペースで少しずつ水に慣れていきます。

夏の水遊びというとプール遊びを思い浮かべますが、幼稚園では水を使ったいろいろな遊びを楽しみます。例えば、シャボン玉。学年によってシャボン玉の楽しみ方も変わっていきます。シャボン玉液を使って、シャボン玉の吹き口で楽しんだり、毛糸を巻いた杵を使って大きなシャボン玉を作ったり、石鹸を削ってシャボン液を作ったりしていきます。また、シャボン玉を吹くことを楽しんだり、シャボン玉が飛んでいく様子を追いかけたり、楽しみ方はそれぞれです。

他にも様々な色の水を混ぜることを楽しんだり、染め紙を作ったりしています。子どもたちが自分からやってみたいと思い、楽しんでいるのは子どもたちの興味関心に合わせた教材の提示をしているからだと考えます。去年できなかったことが今年ではできるようになったり挑戦しようしたりする姿もあります。夢中になって繰り返し楽しむ姿もあります。色水を混ぜることで変化することをじっくり観察する姿もあります。これらの姿は自分からの「おもしろそう」「やってみたい」などの内発的な動機付けから遊び出したり、友達の様子を見て刺激を受けて「やってみたい」と思ったりしています。幼稚園だからこそできる刺激を受けているとも思います。

最後になりましたが、1学期の間、保護者や地域の皆様には様々なご協力をいただき、ありがとうございました。

